

出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS）における 株式会社 ANRis への出資実行について

JST（理事長 橋本 和仁）は、出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS）において、株式会社 ANRis（本社：東京都文京区、代表取締役 川村 渉、以下「ANRis」という）への出資を実行しました。

ANRis は、東京科学大学の程 久美子 特任教授が東京大学在籍時に創出した研究成果を基盤として設立された、siRNA（small interfering RNA）医薬品の研究開発に取り組むスタートアップです。

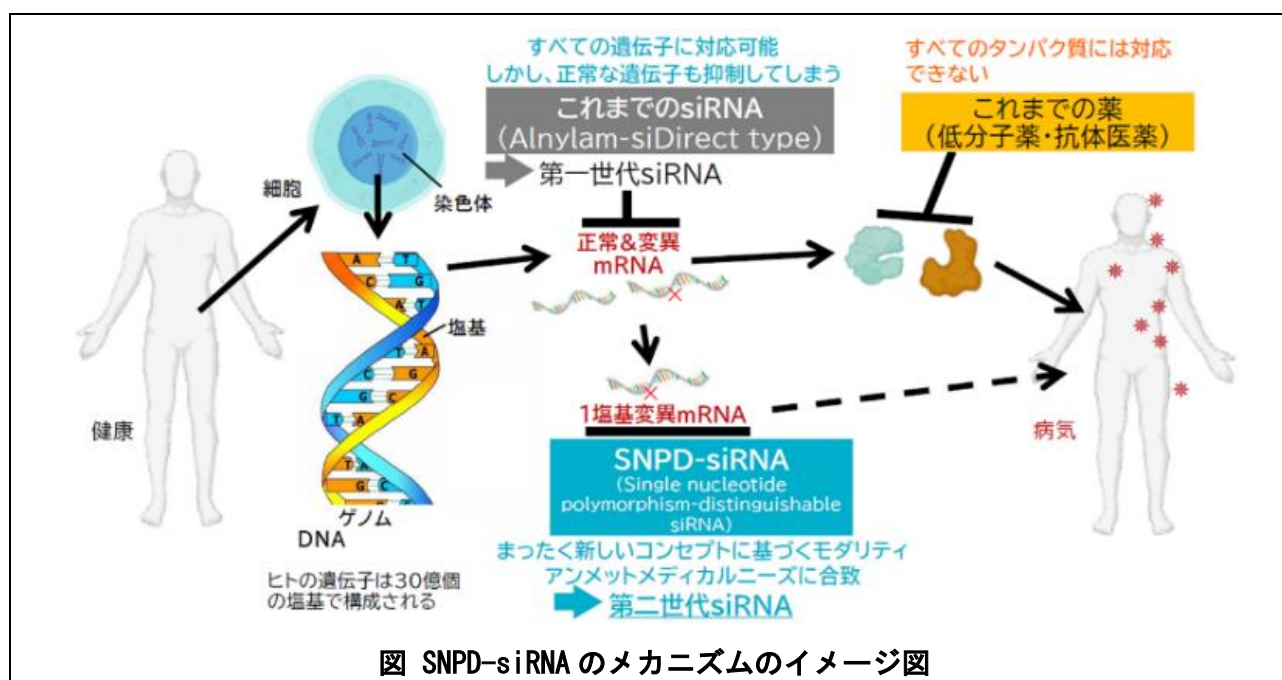
siRNA 医薬品は、RNA 干渉^{注1)}という細胞に元来備わる機能を利用し、生体内の特定の遺伝子発現を抑制することで疾患の治療を目指す形の医薬品です。がんや希少疾患の多くは遺伝子変異に起因します。この遺伝子発現を抑制することで、従来の低分子医薬品や抗体医薬品では標的化が難しかった遺伝子に対する新たな治療手段の開発を進めています。

siRNA 医薬品を開発する際の課題として、目的配列への特異性が挙げられます。疾患の原因となる遺伝子は、正常な遺伝子の配列と比較して一塩基のみが変異していることが多く、既存の siRNA 設計技術では、病気の原因となる変異型遺伝子と、正常な生理機能に必要な野生型遺伝子を正確に区分して抑制することが難しいという課題がありました。

ANRis がプラットフォーム技術として保有する「SNPD-siRNA（Single Nucleotide Polymorphism-Distinguishable siRNA）」は、一塩基変異 mRNA のみを特異的に認識・識別し、選択的に発現抑制する配列の設計技術です。同技術で設計した siRNA により、正常な遺伝子発現はそのままに、疾患の原因となる変異型遺伝子のみを抑制できます。

ANRis は今回の資金調達により、KRAS 変異がん^{注2)}を治療する医薬品の開発を加速させる計画です。

ANRis のプラットフォーム技術には、JST の研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START）プロジェクト推進型 起業実証支援の研究開発課題「1 塩基変異遺伝子を正常遺伝子と区別して抑制する RNA 干渉技術の開発」（研究代表者：程 久美子（現 東京科学大学 特任教授）、2019 年度採択）の成果が活用されています。



JST は 2014 年 4 月より「出資型新事業創出支援プログラム」(SUCCESS: **SU**pport Program of **C**apital **C**ontribution to **E**arly-**S**tage **C**ompanies) を実施しています。本事業は、JST の研究開発成果の実用化を目指すベンチャー企業に対し JST が出資並びに人的および技術的援助をすることでその創出および成長を促進し、当該ベンチャー企業が行う事業活動を通じて JST の研究開発成果の実用化・社会還元を促進することを目的としています。出資を通じて JST がベンチャー企業の株主になることで、民間の資金を誘引する「呼び水効果」も志向しています。

URL : <https://www.jst.go.jp/entre/>

<企業概要>

企業名	株式会社 ANRis (アンリス)
設立日	2023 年 9 月
本社所在地	東京都文京区
代表取締役	川村 渉
事業内容	核酸医薬 (SNPD-siRNA) を用いたがん治療薬等の研究開発

<事業展開>

株式会社 ANRis は、独自の siRNA 配列設計技術「SNPD-siRNA」に基づき、一塩基変異特異的な siRNA 医薬品の研究開発を行っています。この siRNA 医薬品により、疾患の原因となるたんぱく質の発現を抑制することで、がんや希少疾患の治療を目指します。

<用語解説>

注1) RNA 干渉

二本鎖 RNA と相補的な配列を持つ mRNA が特異的に分解される現象で、この分解により mRNA から翻訳されるたんぱく質の発現が抑えられます。siRNA 医薬品は短い二本鎖 RNA で構成され、mRNA を認識する役割を持ちます。

注2) KRAS 変異がん

細胞の増殖・分裂を制御する KRAS 遺伝子に変異が入り、細胞が異常に増殖するようになり、がん化したものです。肺がん、大腸がん、膵（すい）がんなどで多く見られ、がん全体の 20～25%を占めています。

<お問い合わせ>

<ANRis に関すること>

株式会社 ANRis

代表取締役 川村 渉（カワムラ ワタル）

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

東京科学大学 8 号館 2 階 TIP-RCC シェアラボ内

E-mail : info@anris.jp

URL : <https://anris.jp/>

<事業に関すること>

科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部 スタートアップ出資・支援室

朝賀 克栄（アサカ カツエイ）

〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町

Tel : 03-6380-9014 Fax : 03-5214-0017

E-mail : entre@jst.go.jp

<報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町 5-3 サイエンスプラザ

Tel : 03-5214-8404 Fax : 03-5214-8432

E-mail : jstkoho@jst.go.jp

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JST は、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JST は荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JST は、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。